

1. 科目名 (単位数)	表現 (保育児童福祉専修以外) (2単位)		3. 科目番号	GELA1326
2. 授業担当教員	赤塚 太郎			
4. 授業形態	講義、演習		5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係				
7. 講義概要	日常生活において、人間は何らかの方法で他者に表現し、メッセージを発している。その表現は、視覚、聴覚、触覚、臭覚、味覚等の感覚器官を通じて受け取られ、再び表現として表出される。 本講義では、人間にとって表現とはどのような意味をもつのか、様々な表現方法に触れながら考察し、体験や演習を通して、人間の表現活動を総合的に理解していく。			
8. 学習目標	1. 自ら表現することにより、自己発見、自己認識をめざし、自己表現力を高める。 2. 他者の表現に対して共感し受容する能力、相手の表現に対し応答する能力を高める。			
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	詩や物語の創作にあたって、授業外の時間で素材や題材を探す。また、実際に物語等を自宅で声に出して読む練習が必要です。			
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 その都度、関連資料を配布します。 【参考書】 池上彰『伝える力』PHP ビジネス新書、2007。			
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 (学習目標が達成できたかで判断する。) 1. 自ら表現することにより、自己発見し、自己認識を深め、自己表現力を高めることができたか。 2. 他者の表現に対して共感し受容する能力、相手の表現に対し応答する能力を高めることができたか。 ○評定の方法 ①学習・発言意欲・態度等の授業への積極性 (40%) ②個人・グループ発表 (40%) ③レポート等の提出物 (20%) 以上①から③までの結果を総合的に判断する。			
12. 受講生へのメッセージ	何かを「表現」するためには、様々な手段・方法が考えられます。この授業のキーワードは、「コミュニケーション」「言葉」「声」「音」「楽器」で、様々な表現方法をとって自己を見つめ、自己認識を深め、そして気持ちや意思を伝える力を養います。グループで行う作業もありますので、遅刻や欠席は慎み、メンバーで協力して質の良い発表にしてください。そして、日常に溢れている「表現」に対して普段から興味を持ち、常に敏感でいてください。創造力や感性を育むよう意識を持って授業に臨み、この講義が有意義な時間になることを願っています。なお、遅刻や遅延については、累積回数が多いとそれらを認めない場合もあるので、注意してください。			
13. オフィスアワー	授業中に通知します。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第1回	授業ガイダンス (「表現」について、この授業の目指すところ等)	事前学習	シラバスを読み、全体の学びの流れを把握する。「表現」を語る上で大事なキーワード「創造」。この言葉にはどのような意味合いがあるか、各自考える。	
		事後学習	講義を受け、「表現」について自分なりにまとめてみる。	
第2回	「コミュニケーション」について考える	事前学習	「コミュニケーション」にはどのような方法があるかを考える。	
		事後学習	振り返りシートを記入し、学んだ内容を整理する。	
第3回	文字を声に変える表現① (声に出して読んでみる)	事前学習	事前に配布したプリントを熟読する。	
		事後学習	身近な文章を声に出して読んでみて、授業で学んだ内容の理解を深める。	
第4回	文字を声に変える表現② (スピーチしてみる)	事前学習	スピーチとはどのようなものを指すかを考え、必要な要素をまとめてくる。	
		事後学習	スピーチについての要点をまとめ、自宅で声に出して練習し、復習する。	
第5回	詩を創作する① (絵描き歌や数え歌、言葉遊び等、詩作の下準備)	事前学習	日常生活の中に使われている言葉遊びに着目してみる。	
		事後学習	さまざまな言葉による遊びや創作を自分でもやってみる。	
第6回	詩を創作する② (詩に必要な要素を学び、実際に創作してみる)	事前学習	詩の形式について調べてみる。詩の素材や題材を見つける。	
		事後学習	創作した詩を実際に読んでみる。	
第7回	詩の発表	事前学習	発表前の直前練習。	
		事後学習	詩に必要な要素、要点をまとめてみる。	

第8回	言葉を届ける（電子メールと手紙について、その違いや形式・マナーを考え、実際に送ってみる）	事前学習	電子メールと手紙について、それぞれの特徴を考えてみる。
		事後学習	実際に作成した文を送ってみる。
第9回	物語を読む①（グループ発表の準備と、打楽器を用いた効果音の創作）	事前学習	指定した物語に目をおす。
		事後学習	分担した役の箇所を熟読し、発表の準備を進める。
第10回	物語を読む②（グループ発表）	事前学習	担当箇所を確実に把握し、声に出して読む。
		事後学習	他のグループを聞いてどのようなことを感じたか、振り返りシートにまとめる。
第11回	物語を創作する①（二次創作に触れ、絵からストーリーを連想する等、物語を創作する下準備）	事前学習	二次創作とはどのようなものかを調べ、その面白みや創造性について考えてみる。
		事後学習	創作する物語の素材や題材を見つける。
第12回	物語を創作する②（実際に創作してみる）	事前学習	どのような物語を創作するのか、考えてみる。
		事後学習	物語の創作を進める。
第13回	物語を創作する③（下書き）	事前学習	授業内に一通りチェックする必要があるので、内容をまとめておく。
		事後学習	助言された内容を確認し、文を推敲する。
第14回	物語を創作する④（清書）	事前学習	全体によく目をおし、清書の準備をする。
		事後学習	すらすらと、また情感込めて読めるように練習する。
第15回	物語の発表と総括	事前学習	発表に備える。
		事後学習	講義をとおして学習した内容をまとめる。